

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉研究科
大項目	9 教育研究等環境 (研究科)
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント (TA) ・リサーチ・アシスタント (RA) ・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教員の個人研究費・図書費などを確保する。	→ 文部科学省科学研究費補助金、厚生労働科学研究費補助金などへの申請件数、採択件数。	B	B	B		
2. 教員の研究専念時間を確保する。	→ 学部担当科目数の平均値および学内・学部内委員会数および開催数。	C	C	C		
3. 教員の研究倫理に関する部内規程を作成し、これを遵守する。	→ 研究倫理に関する規程の成文化。	C	C	C		
4. 教員の研究倫理に関する部内審査委員会を設置し検討を重ねる。	→ 部内審査委員会設置の要綱。	C	C	C		
5. 教育研究支援体制を整備するためティーチング・アシスタントおよびリサーチ・アシスタント、実践教育支援室に助手・職員を置く。	→ ティーチング・アシスタントおよびリサーチ・アシスタント、実践教育支援室の助手・職員の数。	B	B	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	文部科学省科学研究費補助金の多数採択、受託研究費などの外部資金によって教員の個人研究費・図書費などを確保している。
目標2	教員の研究専念時間は、十分に確保されていない現状にある。
目標3	教員の研究倫理に関する部内規程は、作成していない現状にあり、大学院諸問題検討委員会で同内規を検討する必要がある。
☆ 目標4	教員の研究倫理に関する部内審査委員会は、設置していない現状にあり、大学院諸問題検討委員会で設置について検討する必要がある。
目標5	教育研究支援体制を整備するためティーチング・アシスタントおよび実践教育支援室に助手・職員を相当数置いている。
備考	